

# 一般社団法人日本家政学会 家族関係学部会 ニューズレター

Council on Family Relations, Japan Society of Home Economics

2019年度 第2号 2020.2.14発行



編集 永田 晴子 (庶務担当)

発行 家族関係学部会事務局

\*\*\*\*\* INDEX \*\*\*\*\*

- 部会長より
- 第39回家族関係学セミナー報告
- 『家族関係学』編集委員会より
- 第40回家族関係学セミナーのご案内
- 40周年記念事業について
- 庶務(会員管理担当)より
- 会計より

\*\*\*\*\*

## 部会長より

宮坂 靖子 (金城学院大学)

2019年10月12日～13日に、神戸大学で開催することが計画されておりました第39回家族関係学セミナーは、超大型台風のため、やむなく中止という大変残念な結果となりました。セミナー実行委員長の中谷奈津子先生をはじめ実行委員の先生方には、一年間にわたり、用意周到に準備を重ねていただきました。また、中止後の対応でも大変お手を煩わせることになりました。皆さまのご尽力に感謝して心よりお礼を申し上げます。

来年度、本部会はいよいよ40周年の節目を迎えることとなります。40回目の記念となるセミナーは、佐藤宏子先生を実行委員長として、2020年10月10～11日に和洋女子大学で開催されます。40周年を記念した特別事業として「優秀著書」の表彰を行いますので、ふるってご応募、ご推薦ください(自薦・他薦ともに可)。若手会員の皆さまの研究の発展の励みとなり、キャリア・アップの一助となりますことを願っております。また、セミナーでは、韓国家族関係学会(KAFR)会長による講演会の開催も予定されております。魅力あるプログラム満載の第40回セミナーの開催を会員一同で盛り立てていければと思います。実行委員の先生方、どうぞよろしく願いいたします。

日本家政学会第72回大会は、2020年5月29日(金)～31日(日)に高崎健康福祉大学(群馬県)で開催されます。家政学原論部会主宰の大会活性化企画「家政学・家政学原論の今日と未来の方向性を探る：国連SDGsや国際家政学会が提起するもの」には、生活経営学部会、家政教育部会とともに連携して関わらせていただくことになりました。本部会からは黒川衣代先生にご登壇いただきます。グローバル化が加速する社会における家政学や本部会の果たす役割や貢献について議論する機会となりますので、多くの会員の皆さまにご参加いただければと思います。

40年間の諸先生・諸先輩方の歩みを引き継ぎ、次の世代に新たなバトンを渡せるよう「ワンチーム」の精神でのりきって参りますので、ご協力をよろしく願いいたします。

## ★ ★ ★ 第 39 回家族関係学セミナー報告 ★ ★ ★

中谷 奈津子 (第39回セミナー実行委員長/神戸大学)

第39回家族関係学セミナーは、2019年10月12日、13日の2日間にわたって、神戸大学鶴甲第二キャンパス(神戸市灘区)で開催予定でしたが、残念ながら大型台風接近のためセミナー中止を余儀なくされました。プログラムは例年通りに第1日目は公開シンポジウム、第2日目に自由報告という構成でした。ここにその概要と中止決定後の対応等についてご報告させていただきます。

第1日目の公開シンポジウムは、「地域におけるグローバル化と多文化共生—受け入れ国と送り出し国の家族・子ども・教育—」をテーマとして、日本家政学会活動助成、神戸大学人間発達環境学研究科学術weeksによる助成を得て企画されました。本シンポジウムでは、加速するグローバル化によって、私たちの身近な地域生活がどのように営まれ支えられているのかを理解し、特に国籍や文化等、様々な背景を持つ子どもやその家族の生活問題を通して、日本の地域社会における多様性の尊重と多文化共生の可能性を模索していくことを目的としました。「移民社会と児童虐待問題—日本で子育てをすること—」(上野加代子氏(東京女子大学))、「外国にルーツを持つ子どもと保護者への神戸での実践と課題」(志岐良子氏(特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター))、「外国につながるのある子どもたちと家庭科教育」(上野顕子会員(金城学院大学))というそれぞれの報告に対し、森田美佐会員(高知大学)と磯部香会員(高知大学)による司会で多文化共生に対する積極的な議論が期待されていました。あいにく中止となりましたが、地域におけるグローバル化に焦点を当てた議論は、今後ますます必要なことと思います。

第2日目の自由報告は計14報告の申し込みがありました。以下、タイトル(副題省略)と報告者を記します。第1分科会は「E.W.Burgessとこどもの発達」(天木志保美氏)、「未就学児を持つ母親の世代間コミュニケーションと父親・母親の育児」(大風薫氏)、「医療的ケア児を育てる母親の就労」(春木裕美氏)、「子育て女性の就業について」(田姫氏)、「子育てしている父親」(巽真理子氏)、「共働き家族における家庭内労働の分担と妻のワーク・ライフ・バランス」(中川まり氏)、「地方都市における性別役割分業と男女平等に関する意識」(松島悦子氏)、以上7報告、第2分科会は「現代韓国の育児援助と親族関係」(山根真理氏・李環媛氏・平井晶子氏・呉貞玉氏)、「男性脱北者の韓国社会への適応と生存戦略」(尹鈇喜氏)、「ジェンダー意識に関する日本とフィリピンの比較研究」(駒田笑奈氏)、「大学生のケア意識と情緒規範に関する国際比較」(宮坂靖子氏・青木加奈子氏・磯部香氏・山根真理氏・李東輝氏・鄭楊氏)、「理想とする人生の最終段階」(浦口美徳氏)、「実践家と研究者の協働による家族生活教育(Family Life Education)の試み」(黒川衣代氏・坂本有芳氏)、「キャンパスのユニバーサルデザイン化に向けて」(赤松瑞枝氏)、以上7報告でした。座長は中川まり会員(東京女子大学)、井上清美会員(川口短期大学)、李秀眞会員(弘前大学)、橋本有理子会員(関西福祉科学大学)の予定でした。なおセミナー中止に伴い、自由報告における報告「成立」の要件として、要旨集における原稿の掲載、期日までのセミナー参加費納入等をお知らせしておりました。申込者全員に要件が満たされていることが確認されましたので、上記の自由報告はすべて「報告が成立」していることをここにご報告いたします。

その他、事前に参加申し込みされていた会員の方には、要旨集、領収書、当日配布予定の資料などをすでに郵送しております。懇親会費は、業者へのキャンセル料の支払いが不要となりましたので、手数料を差し引いて事前に申し込みいただいた方々に現金書留で返金しております。併せてご確認ください。

セミナーは中止となりましたが、様々な場面での皆さまのご理解、ご協力に心より感謝申し上げます。

第39回家族関係学セミナー実行委員会

青木加奈子、磯部香、巽真理子、永田晴子、橋本有理子、平井晶子、冬木春子、森田美佐、中谷奈津子

## ★ ★ ★ 『家族関係学』 編集委員会より ★ ★ ★

杉井 潤子 (編集委員長/京都教育大学)

### ○ 『家族関係学』 投稿論文の募集

『家族関係学』 No. 39 への投稿原稿を募集いたします。多くの会員のみなさまから力作が寄せられますことを期待しています。

以下の①②、いずれかの方法でご投稿ください。いずれの場合も、「投稿申込表紙」を添付してください。「投稿申込表紙」は部会ホームページから所定の書式をダウンロードして、すべての項目にチェックのうえ送付ください。

①郵送の場合、投稿締め切りは **2020年3月31日(火)** (消印有効ではなく、必着のこと)。必ず受領確認ができる書留の郵便(簡易書留)、レターパックプラスまたは宅配便で送付願います。

②今期から上記の郵送受付と並行して、E-mailによる投稿受付も試験的に実施します。

メール投稿締め切期日 **2020年3月31日(火) 24:00**

編集委員会 E-mail edit★kazokukankeigaku.jp (★を@に置き換えてください)

メールにより投稿される場合には、原稿はpdfファイルに変換してください。なお、メール投稿の場合も投稿料2,000円(郵便小為替)は上記期日までに必ず「郵送」ください。

(1) 投稿先は以下の通りです。

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1 京都教育大学 家政科気付  
家族関係学編集委員会 杉井 潤子 宛  
Tel & Fax : 075-644-8317  
編集委員会 E-mail : edit★kazokukankeigaku.jp ★を@に置き換えてください

(2) 投稿規定および執筆要項は、部会ホームページで最新の情報をご確認ください。とくに、分量オーバーの投稿原稿は受理できない場合がありますので、くれぐれもご注意ください。

### ○ 書評・文献紹介の対象となる図書情報の募集

書評・文献紹介の対象となるご著書等の情報を、ぜひお知らせください。2019年5月1日から2020年4月30日までの間に刊行され、部会員が執筆に関わったすべての文献を対象とします。自薦、他薦いずれも歓迎します。

編集委員会書評担当まで、1冊、献本をお願いします。もしくは、書誌情報【著者名・編者名、書名、発行年月日、発行所、税込価格、ISBN、執筆部会員名】をE-mailでご連絡いただければ幸いです。なお、ページ数に限りがあるために、すべての著作を取り上げることはできません。

締め切りは、2020年5月2日(土)です。

〈書評・文献紹介担当〉

〒333-0831 埼玉県川口市木曾呂1511 川口短期大学 井上 清美 宛

Tel : 048-294-1963 Fax : 048-294-3755

編集委員会 E-mail: edit★kazokukankeigaku.jp ★を@に置き換えてください

### ○ 『家族関係学』 No.38 誤植のお詫び

2019年12月に刊行いたしました38号に、印刷・発送後に2か所誤植があることがわかりました。急ぎ、印刷会社と協議のうえで訂正シールにて対応させていただきました。ご迷惑をおかけしましたこと、あらためてお詫び申し上げます。

★ ★ ★ 第 40 回家族関係学セミナーのご案内 ★ ★ ★

佐藤 宏子 (第 40 回セミナー実行委員長/和洋女子大学)

第 40 回セミナーは千葉縣市川市の和洋女子大学において開催いたします。和洋女子大学のある千葉縣市川市は、下総国の国府や古墳時代などの史跡が数多く残る文教・学園地区であり、江戸川を挟んで東京都江戸川区に接する東京のベットタウンです。

2020 年に家族関係学部会は発足から 40 周年を迎えます。今回のセミナーでは 40 周年記念行事、40 周年記念シンポジウム、韓国家族関係学会会長講演などが開催されます。セミナー参加、自由報告募集のご案内は、5 月を予定しております。東京駅から約 30 分、成田空港・羽田空港からいずれも約 60 分と、交通の便に恵まれておりますので、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

日 程：2020 年 10 月 10 日 (土) ～11 日 (日)

会 場：和洋女子大学 / 〒272-8533 千葉縣市川市国府台 2-3-1

アクセス：東京駅から JR 総武線快速に乗車し市川駅で下車、京成バスで真間山下で下車 (約 30 分)  
羽田空港から京急空港線快速と京成本線を乗り継ぎ、国府台駅で下車 (約 60 分)  
成田空港から京成本線特急と京成本線を乗り継ぎ、国府台駅で下車 (約 60 分)

**★ ★ ★ 40周年記念事業 優秀著書の表彰 ★ ★ ★**  
**優秀著書推薦のお願い**

久保 桂子 (40周年記念事業優秀著書選考委員会委員長/千葉大学)

2019年度の総会で、「家族関係学部会創立40周年記念事業 優秀著書の表彰についての要領」が承認されました。以下、要領のⅠ～Ⅳに基づきまして、宮坂部会長から久保が選考委員会の委員長に指名され、選考委員会が立ち上がりました。40周年記念事業の優秀著書の表彰へのご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

**Ⅰ. 事業の目的**

本事業は、日本家政学会家族関係学部会創立40周年を記念して、新進研究者の優れた著書を表彰することを通じて、家族関係学研究の発展と会員の研究意欲を称揚することを目的とする。

**Ⅱ. 優秀著書賞の対象**

優秀著書賞の選考対象とする業績は、2010年1月1日～2019年12月31日までに刊行された「新進研究者」に該当する会員の著書で、自薦・他薦されたものとする。なお、教科書、参考書とみなされる著書は対象外とする。

2. 前項の「新進研究者」とは、2020年時点で大学院修士課程修了後概ね15年以内の者（または、これと同等と認められる者）とする。
3. 原則として単著とするが、共著であっても、2項の資格要件を全員が満たしている場合は対象とする。

**Ⅲ. 選考委員会**

選考委員会は委員長のほか、部会役員以外の会員3名を加え、計4名で構成する。

2. 委員長は部会長に指名された部会役員をあてる。
3. 授賞式の1年前をめぐりに部会長と選考委員長の協議により選考委員を選任し、部会長が委嘱する。任期は選任時点から授賞式のある総会までとする。

**Ⅳ. 結果の公表**

選考結果は本賞授与年の総会等において公表し、授賞式を行う。  
本人への選考通知は、2020年9月末を予定している。

**Ⅴ. 推薦手続き**

1. 下記送付先に、メール、郵便いずれかの方法で推薦書類を送付する。
2. 推薦書類には、推薦著書名、執筆者名、発行年、発行所、推薦者、推薦理由（100字以内）を明記する。
3. 推薦書類の送付先および推薦締切日

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1丁目33番 千葉大学教育学部

家族関係学部会優秀著書選考委員会 久保桂子

E-mail) kubokeiko★faculty.chiba-u.jp (久保桂子) ★を@に置き換えてください

締切日：2020年3月10日（火）消印有効

★ ★ ★ 庶務(会員管理担当)より ★ ★ ★

大石 美佳 (庶務/鎌倉女子大学)

- ご住所・ご所属の変更、入退会のご希望については、下記までご連絡ください。
- 2017年度から学生会員の年会費が減額されております。会員区分に変動があった場合（たとえば学生会員から正会員へ）は、お手数ですが、下記までご連絡くださいますようお願い申し上げます。
- 情報提供のお願い

連絡先不明： 陳 效娥 (敬称略)

メールアドレス不明： 浅田 (梶原) 彩子・足立 啓子・荒谷 直美・永藤 清子・  
遠藤 マツエ・川村 千恵子・金 貞任・澤田 光・  
大後 みき子・田中 弓子・望月 ミチ (敬称略)

※連絡先の情報をお持ちの方はご連絡ください。

- バックナンバーの購入について

「家族関係学」の在庫は、30号(18冊)、31号(8冊)、32号(9冊)、33号(7冊)、34号(18冊)、35号(24冊)、36号(5冊)、37号(31冊)です。1冊2,000円で購入できます。購入希望の方は、下記の連絡先までお知らせください。ご所属の図書館等の蔵書としてもお買い求めいただきますようお願いいたします。

なお、『家族関係学』の在庫の保管・販売は2017年7月から、よしみ工産株式会社東京事務所に業務委託しています。購入希望者の方には、よしみ工産株式会社より郵送されます。

連絡先：鎌倉女子大学 大石美佳

〒247-8512 鎌倉市大船6-1-3 Tel : 0467-44-2111 (代表) Fax : 0467-44-7131

E-mail: inquiry★kazokukankeigaku.jp (家族関係学部会事務局) ★を@に置き換えてください

★ ★ ★ 会計より ★ ★ ★

李 璟媛 (会計/岡山大学)

2019年度および過年度の年会費未納の方は、3月2日(月)までに年会費を振り込んでください。会計の都合上、期日厳守をお願いいたします。

また、学生会員の年会費が2017年度より減額となっております(正会員5,000円、学生会員2,000円)。2020年度に学生会員として入金を希望される方は、学生証の写しを下記までお送りください。郵送、画像のメール添付などいずれの方法でもかまいません。提出期限は2020年4月1日から5月31日とさせていただきます。なお、学生会員の場合は2年分の会費を前納することはできません。

ご不明の点がございましたら、下記までご連絡ください。

年会費振り込み先：(郵便振替) 00310-6-30229 家族関係学部会

連絡先：岡山大学 李 璟媛 〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学教育学部

Tel : 086-251-7678 E-mail : leekw★okayama-u.ac.jp ★を@に置き換えてください

☼++☼

<家族関係学部会事務局> 〒247-8512 鎌倉市大船6-1-3 鎌倉女子大学 大石美佳

Tel : 0467-44-2111 (代表) Fax : 0467-44-7131

E-mail : inquiry★kazokukankeigaku.jp (家族関係学部会事務局)

メールマガジン配信アドレス : info★kazokukankeigaku.jp ★を@に置き換えてください

家族関係学部会ホームページのURL : http://kazokukankeigaku.jp

☼++☼